

国民の生活に関する継続調査
〔女性票〕

(平成27年11月4日調査)



(お願い)
お答えは、数字は右詰めで記入し、あてはまる番号は○
で囲んでください。
お答えになった内容については統計以外の目的には使用
しませんのでご協力をお願いいたします。

整理番号							
地区番号		単区番号		世帯番号			
出生年月							
1	昭和			年			月生
2	平成			年			月生

出生年月をご確認ください。----->
記載されていない場合はご記入願います。

問1 あなたは、現在、所得を伴う仕事（学生アルバイトも含む）についていますか。あてはまる番号
1つに○をつけてください。所得を伴う仕事とは、家事（農業を含む）の手伝いや内職も含みます。

1	仕事についている	-----> 問2へお進みください
2	仕事についているが、休業中(育児休業、介護休業など)である	
3	仕事についていない	-----> 4頁の問10へお進みください
	1 家事についている	
	2 通学している	
	3 その他	

問2 現在、複数の仕事（休業中の仕事も含む）についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてく
ださい。

1	複数の仕事についている	-----> 次頁の問3から問6までは、一番長い時間している仕事 についてお答えください
2	ひとつの仕事にのみについている	

問3 現在についている仕事は、どのような形態ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。(問6まで同様です。)

1 会社などの役員	勤め先における呼称を基準にお答えください。 ➡	雇用保険（失業保険）に加入していますか。 あてはまる番号1つに○をつけてください。
2 自営業主		1 している 2 していない 3 わからない
3 自家営業の手伝い		雇用契約は有期ですか、無期ですか。 あてはまる番号1つに○をつけてください。
4 自宅での賃仕事（内職）		1 無期（契約期間が定めがない） 2 有期（契約期間が1年超） 3 有期（契約期間が1年以下） わからない
5 正規の職員・従業員		
6 アルバイト		
7 パート		
8 労働者派遣事業所の派遣社員		
9 契約社員		
10 嘱託		
11 その他		

問4 従業者の数（勤め先・業主などの企業全体）は、どのくらいですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 1～4人	4 100～299人	7 1000～4999人
2 5～29人	5 300～499人	8 5000人以上
3 30～99人	6 500～999人	9 官公庁

問5 どのような職業ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 管理的な仕事	5 サービスの仕事	9 輸送・機械運転の仕事
2 専門的・技術的な仕事	6 保安の仕事	10 建設・採掘の仕事
3 事務の仕事	7 農林漁業の仕事	11 運搬・清掃・包装等の仕事
4 販売の仕事	8 生産工程の仕事	12 分類不能の職業

問6 現在のお勤め先（会社等）は、1年前（平成26年11月1日）と同じですか。

1 同じ -----▶ 次頁の問7へお進みください
2 違う（1年前に仕事についていなかった方も含みます）

補問6-1 現在の勤め先（会社等）に勤め始めた時期、または事業を開始した時期はいつですか。

1 平成26年	月
2 平成27年	

問7 平成27年10月の1か月間に働いて得た所得はありましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、所得がある場合は、この1か月間の所得額（税込み）を記入してください。複数の仕事による所得がある場合は、それらを合算のうえ記入してください。

平成27年10月の1か月間に働いて得た所得	
所得	1 あり 金額 万 千円
	2 なし

注：千円未満は四捨五入してください。

問8 就業時間等についてお答えください。勤務日数と就業時間については、複数の仕事についている場合、それらを合計のうえ記入してください。

なお、平均的な平日の帰宅時間は、平日の日に就業されている方の、出勤日の平均を24時間表示（10:00PMは22:00）でご記入ください。

1週間の勤務日数	通常	日	平均的な1週間の就業時間	時間
1日の片道の平均通勤時間	時間	時間	平均的な平日の帰宅時間	: (例：10:00PM→22:00)

注：1）就業時間は、ふだんの1週間（就業時間）を記入してください。また、ふだん残業している場合は、残業時間も含めて記入してください。

（記入例：1日8時間、週5日働いている場合は、勤務日数5日、就業時間40時間となります。）

2）通勤時間は、日によって異なる場合は、それらを平均した1日当たりの片道通勤時間を記入してください。

問9 現在、学業のため、高校に通っていますか。通っている場合は学業と仕事のどちらが主ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

通っている	
1 学業が主である	-----▶ 次頁の問10へお進みください
2 仕事が主である	-----▶ 次頁の問11へお進みください
3 通っていない -----▶	

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

- ▶ 補問11-1 1年前（平成26年11月1日）についていた仕事をその後、やめたのはどのような理由からですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。
また、その中で主なものの番号1つを番号記入欄に記入してください。

1 自分の希望する仕事ではなかったから	14 健康がすぐれなかったから
2 能力・実績が正当に評価されなかったから	15 家族の介護のため
3 給与・報酬が少なかったから	16 家族が転勤したから
4 労働時間が長かった・休暇が少なかったから	17 育児休業がとりにくかったから
5 独立・起業のため	18 会社から出向・転籍を命ぜられたから
6 通勤時間が長かったから	19 希望退職に応じたから
7 転勤が多かったから	20 倒産したから
8 一時的・不安定な仕事だったから	21 解雇されたから
9 人間関係がうまくいかなかったから	22 契約期間が満了したから
10 会社の経営方針に不満を感じたから	23 初めから短期のつもりだったから
11 事業又は会社の将来に不安を感じたから	24 新しい仕事がみつかったから
12 結婚のため	25 勉強のため
13 出産・育児のため	26 その他（ ）

主なものの番号記入欄

現在、仕事についている（休職中・アルバイト・パート等も含む）

- 問12 あなたは今後出産する場合、出産した後も現在の仕事を続けますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。（今後の出産を考えていない方は、「4 今後の出産は考えていない」に○をつけてください。）

1 出産した後も継続して働く	2 出産を機にやめる	3 続けるかどうか考えていない	4 今後の出産は考えていない
----------------	------------	-----------------	----------------

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

現在、会社等にお勤めの方（休業中、アルバイト・パート等も含む）

問13 あなたのお勤めの会社等には、以下のような、仕事と子育ての両立のため及び仕事と介護の両立のための制度で、あなたの就業形態で利用可能な制度はありますか。それぞれの制度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

制度の種類	① あなたの就業形態で 利用可能な次の制度は ありますか。	①で「ある」とお答えになった制度 についてお答えください。		④ 現在または今後、 育児のために 制度を利用したいと 思いますか。	
		② その制度を 利用した場合の給与	③ あなたが利用するにあたっての 雰囲気はどうですか。		
仕事と子育ての両立のため	(1) 育児休業制度	1 ある 2 ない 3 わからない	1 有給 2 無給 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 現在利用している 4 わからない
	(2) 短時間勤務制度	1 ある 2 ない 3 わからない		1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 現在利用している 4 わからない
	(3) (1)、(2)以外の育児の ための勤務時間の短縮等 〔フレックスタイム制 始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ 所定外労働(残業)の免除〕	1 ある 2 ない 3 わからない		1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 現在利用している 4 わからない
仕事と介護の両立のため	(1) 介護休業制度	1 ある 2 ない 3 わからない	1 有給 2 無給 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 利用経験がある 4 わからない
	(2) 介護のための所定労働 時間の短縮等の措置※	1 ある 2 ない 3 わからない		1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 利用経験がある 4 わからない

注：複数の仕事については、最も長い時間している仕事についてお答えください。
 ※ 介護のための所定労働時間の短縮等の措置とは、介護のために利用可能な以下のいずれかの制度を指します。
 所定労働時間を短縮する制度、フレックスタイム制、始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ、労働者が利用する
 介護サービスの費用の助成その他これに準ずる制度。

お子さんのいる方

問14 あなたはこの1年間（平成26年11月～平成27年10月）に、次の制度を利用しましたか。
 それぞれの制度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、育児休業制度の利用
 ありの場合は、取得した期間（現在取得中の場合は予定期間）を記入してください。

制度の種類	利用の有無	育児休業取得期間（平成26年11月～平成27年10月の間）
(1) 育児休業制度	1 利用あり 2 利用なし	平成 年 月 ～ 平成 年 月
(2) 育児のための短時間勤務制度	1 利用あり 2 利用なし	※育児休業取得期間は、育児休業の開始から終了の期間が 平成26年11月～平成27年10月にかかる場合に、 実際の取得期間をすべて記入してください。 (記入例) 育児休業取得期間が平成26年7月から平成27年6月 までの場合、平成26年7月～平成27年6月となり ます。
(3) (1)、(2)以外の育児のための 勤務時間の短縮等	1 利用あり 2 利用なし	

注：1) 複数の仕事についている場合は、最も長い時間している仕事についてお答えください。
 2) (3)の内容は、この頁の問13の(3)と同様です。

すべての方

- 問15 あなたはこの1年間（平成26年11月～平成27年10月）に、次の出来事がありましたか。
あてはまる番号すべてに○をつけて、その年月を記入してください。
また、それぞれの学校の種類についても、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 卒業した	→平成		年		月	→	1 高校 2 専門学校	3 短大・高専 4 大学	5 大学院 6 その他
2 中退した	→平成		年		月	→	1 高校 2 専門学校	3 短大・高専 4 大学	5 大学院 6 その他
3 入学した	→平成		年		月	→	1 高校 2 専門学校	3 短大・高専 4 大学	5 大学院 6 その他
4 上記1～3のようなことはなかった									

- 問16 あなたには、現在、配偶者はいますか。
なお、「配偶者」には、事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない場合も含まれます。（以下の質問についても同様です。）

1 いる	→現在、配偶者と同居していますか。	1 同居している 2 同居していない	→次頁の 問18へお進 みください
2 いない	→現在、「交際している異性」はいますか。	1 いる 2 いない	→問17へお進 みください

- 補問16-1 今後の1年間（平成27年11月～平成28年10月）に、結婚の予定はありますか。

1 ある	2 ない
------	------

- 問17 今後、結婚したいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 絶対したい	→次頁の問19へお進みください
2 なるべくしたい	
3 どちらとも言えない	
4 あまりしたくない	
5 絶対したくない	

〔補問17-1、17-2は所得を伴う仕事がある方のみお答えください。現在、休業中（育児休業、介護休業など）の方も含まれます。それ以外の方は、次頁の問18へお進みください。〕

- 補問17-1 結婚した後も現在の仕事を続けますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 結婚した後も続ける	2 結婚を機にやめる	3 考えていない
-------------	------------	----------

- 補問17-2 結婚と仕事に関して、次のようなことがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 結婚を考えている相手や家族が結婚後退職することを望んでいる
2 職場に結婚後働き続けにくい雰囲気がある
3 上記1、2のようなことはない

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

配偶者がいる方、配偶者がいない方で問17で1～4とお答えの方

問18 下記(1)～(3)の事項について、夫妻のいずれが責任をもつ家庭を築きたいと思いますか。それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

	夫が主として 責任をもつ家庭	妻が主として 責任をもつ家庭	夫妻いずれも同様に 責任をもつ家庭	わからない
(1) 世帯の収入	1	2	3	4
(2) 家事	1	2	3	4
(3) 育児	1	2	3	4

すべての方

問19 この1年間（平成26年11月～平成27年10月）に、次のような出来事がありましたか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

なお、結婚には、事実上夫婦として生活するようになった場合、離婚・死別には事実上夫婦として生活していた場合も含みます。

1 結婚した	----->	配偶者の氏名	1 昭和		年		月生
2 離婚した		配偶者の氏名	2 平成		年		月生
3 配偶者と死別した		同居を開始した年月	平成		年		月
4 上記1～3のようなことはなかった							

補問19-1 現在、妊娠していますか。

1 している	2 していない・わからない
--------	---------------

問20 今後、（すでにいらっしゃる場合は、さらに）何人の子どもをもちたいと考えていますか。
すでにいらっしゃるおさんは含めずに記入してください。
（お子さんが欲しくない場合は、0人と記入してください。）

（さらに）		人
-------	--	---

問21 あなたは1日の中で、家事、育児・子どもの世話に何時間くらい費やしていますか。平日と休日に分けてお答えください。

平日		時間		分	休日		時間		分
----	--	----	--	---	----	--	----	--	---

問22 現在、同居している方は何人ですか。ご家族については、建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。

	人（ご本人は含みません）
--	--------------

問23 あなた及びあなたの配偶者のご両親と同居していますか。建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。(配偶者がいない方は、(1)、(2)のみお答えください。)

(1) あなたの父親	1 同居	2 別居 (自宅からの距離____分)	3 死別
(2) あなたの母親	1 同居	2 別居 (自宅からの距離____分)	3 死別
(3) 配偶者の父親	1 同居	2 別居 (自宅からの距離____分)	3 死別
(4) 配偶者の母親	1 同居	2 別居 (自宅からの距離____分)	3 死別

注：自宅からの距離は、よく利用する交通手段での移動時間を分単位に換算してご記入ください。

問24 この1年間(平成26年11月～平成27年10月)に転居、又は住居の増改築をしましたか。
 なお、転居には、住所変更を伴わない一時的な滞在(出産のために実家に帰るなど)は含みません。

----- 1 した	2 していない
------------	---------

補問24-1 現在のお住まいの状況について、**あてはまる番号1つに○をつけて**、居住室数をお答えください。

住居の種類	住居の床面積 〔※玄関・台所・便所・浴室などを除く。あなたご家族全ての床面積の合計。※1畳＝約3.3㎡〕	居住室数 〔※玄関・台所・便所・浴室・廊下などは除きます。※ダイニングキッチンを含めます。〕
1 持ち家	1 25㎡未満	室
2 民間賃貸住宅	2 25～50㎡未満	
3 社宅・公務員住宅等の給与住宅	3 50～75㎡未満	
4 都市再生機構・公社等の公営賃貸住宅	4 75～100㎡未満	
5 借間・その他	5 100～150㎡未満	
	6 150～200㎡未満	
	7 200㎡以上	

配偶者がいない方で、親御さんと同居している方のみお答えください

問25 あなたは生活費を家計に繰り入れていますか。**あてはまる番号1つに○をつけて**ください。
 入れている場合は、毎月の平均額を記入してください。

1 入っていない	2 入れている	万円(99万円以上の場合は「99」と記入してください)
----------	---------	--

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

すべての方

問26 お子さんはいますか。

1 いる 2 いない → 次頁の問27へお進みください

補問26-1 お子さんについて、年齢の高い順に記入してください。（7人以上お子さんがいらっしゃる場合は、余白にご記入ください。）

	性別	出生年月	同別居 の別	(同居している小学生の お子さんについて) 現在の放課後児童(学童) クラブの利用の有無
1	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
2	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
3	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
4	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
5	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
6	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし

小学校入学前の同居しているお子さんがいらっしゃる方のみお答えください

補問26-2 現在、利用している保育サービス等について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------|------------------|
| 1 認可保育所（ <small>※</small> ） | 6 幼稚園が行っている預かり保育 |
| 2 事業所内託児施設（ <small>※</small> ） | 7 幼稚園（預かり保育を除く） |
| 3 認可外保育施設（事業所内託児施設を除く） | 8 認定こども園 |
| 4 ベビーシッター、家庭的保育事業（保育ママ） | 9 利用していない |
| 5 ファミリー・サポート・センター | |

注：あなた（現在、配偶者がいる場合には、あなたや配偶者）が会社等にお勤めの場合、その会社等に設置されている託児施設です。

補問26-3 小学校入学前のお子さんを、平日の日中に世話をしているご家族等はどなたですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------|---------------------------------|
| 1 あなた | 6 配偶者の母 |
| 2 配偶者 | 7 その他の家族・親族 |
| 3 あなたの父 | 8 その他（友人・知人等） |
| 4 あなたの母 | 9 なし（保育サービス等の利用のみの場合はこちらに含まれます） |
| 5 配偶者の父 | |

補問26-4 現在、利用を希望しているが利用できない保育サービスはありますか。ある場合は、**利用を希望するものすべてに○をつけてください。**

1 認可保育所（園）	6 幼稚園が行っている預かり保育
2 事業所内託児施設 ^(注)	7 幼稚園（預かり保育を除く）
3 認可外保育施設（事業所内託児施設を除く）	8 認定こども園
4 ベビーシッター、家庭的保育事業（保育ママ）	9 特になし
5 ファミリー・サポート・センター	

注：あなた（現在、配偶者がいる場合には、あなたや配偶者）が会社等にお勤めの場合、その会社等に設置されている託児施設です。

すべての方

問27 次の(ア)から(カ)の質問について、過去1か月の間はどのような感じがありましたか。6つの項目それぞれについてあてはまる番号1つに○をつけてください。

	1 まったく ない	2 少しだけ	3 普通	4 やや多い	5 とても多い
(ア) 神経過敏に感じましたか	1	2	3	4	5
(イ) 絶望的だと感じましたか		2	3	4	5
(ウ) そわそわ、落ち着かなく感じましたか		2	3	4	5
(エ) 気分が沈み込んで、何が起こっても 気が晴れないように感じましたか	1	2	3	4	5
(オ) 何をするのも骨折りだと感じましたか	1	2	3	4	5
(カ) 自分は価値のない人間だと感じましたか	1	2	3	4	5

問28 現在のあなたの暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 大変苦しい	3 普通	5 大変ゆとりがある
2 やや苦しい	4 ややゆとりがある	

問29 あなたの世帯で主に家計を支えているのはどなたですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 あなた	4 配偶者のきょうだい	7 配偶者の父親	10 わからない
2 配偶者	5 あなたの父親	8 配偶者の母親	
3 あなたのきょうだい	6 あなたの母親	9 その他	

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

問30 あなた（現在、配偶者がいる場合にはあなた及び配偶者）の、平成26年1年間に得た所得（働いて得た所得（税込み）とその他の所得の合計金額）について、それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。配偶者がいない場合には、「(1) あなたの所得」のみお答えください。

	平成26年1年間の所得					
(1) あなたの所得	1 所得なし	7 250～299万円	13 600～ 699万円			
	2 50万円未満	8 300～349万円	14 700～ 799万円			
	3 50～ 99万円	9 350～399万円	15 800～ 899万円			
	4 100～149万円	10 400～449万円	16 900～ 999万円			
	5 150～199万円	11 450～499万円	17 1000～1499万円			
	6 200～249万円	12 500～599万円	18 1500万円以上			
(2) 配偶者の所得	1 所得なし	7 250～299万円	13 600～ 699万円			
	2 50万円未満	8 300～349万円	14 700～ 799万円			
	3 50～ 99万円	9 350～399万円	15 800～ 899万円			
	4 100～149万円	10 400～449万円	16 900～ 999万円			
	5 150～199万円	11 450～499万円	17 1000～1499万円			
	6 200～249万円	12 500～599万円	18 1500万円以上			

注：1) 1万円未満は四捨五入してください。

2) わからない場合は家族の方と相談してお答えください。

3) その他の所得には、親からの仕送り、家賃・地代等の財産収入、利子・配当金、児童手当、雇用保険からの育児休業給付等の社会保障給付金などを含めます。

問31 あなた（現在、同居している配偶者がいる場合にはあなた及び配偶者）が、平成27年10月の1か月間に支出した額を記入してください。配偶者がいない場合や配偶者が別居している場合には、あなたご自身の支出について記入してください。
なお、親や兄弟など他の家族と生計を同一でしているため、他のご家族の支出と区別することが困難な場合には、世帯全体（あなたの世帯の支出を含む）の支出を記入してください。

平成27年10月の1か月間の支出	
(1) 支出額 ((2), (3))を含む	万 千円
(2) うち、お子さんの保育料 [小学校入学前のお子さんについて、保育所、認定こども園、ベビーシッター等の保育サービスを利用した場合に支払った費用]	1 あり ↓ 金額 万 千円 2 なし
(3) うち、お子さんの教育費 [幼稚園、放課後児童(学童)クラブ、学校教育費、参考書等の購入費、家庭教師、通信教育、学習塾、水泳教室、音楽教室等に支払った費用]	1 あり ↓ 金額 万 千円 2 なし
(4) 親や兄弟など他の家族の支出との区別	1 できる 2 できない

注：1) 支出には、税金、社会保険料、事業上の支払い、貯蓄、借金、住宅ローンの返済、掛け捨て型以外の生命保険料・損害保険料は含めませんが、耐久消費財の購入、冠婚葬祭の費用は含めます。
2) 千円未満は四捨五入してください。

配偶者がいない方は回答終了です。

配偶者（夫）の状況

配偶者（夫）がこの調査に回答されていない方のみお答えください。

配一問1 あなたの夫は、現在、所得を伴う仕事（学生アルバイトも含む）についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。所得を伴う仕事には、家業（農業を含む）の手伝いや内職も含まれます。

- 1 仕事についている -----> 配一問2へお進みください
- 2 仕事についているが、休業中（育児休業、介護休業など）である -----> 配一問2へお進みください
- 3 仕事についていない
 - 1 家事に従事している -----> 15頁の配一問10へお進みください
 - 2 通学している -----> 15頁の配一問10へお進みください
 - 3 その他 -----> 15頁の配一問10へお進みください

配一問2 あなたの夫は、現在、複数の仕事（休業中の仕事も含む）についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 複数の仕事についている -----> 配一問3から配一問6までは、一番長い時間している仕事についてお答えください
- 2 ひとつの仕事にのみについている -----> 配一問3から配一問6までは、一番長い時間している仕事についてお答えください

配一問3 あなたの夫が、現在についている仕事はどのような形態ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。休業中の場合は、休業中の状況のもとにお答えください。（配一問6まで同様です。）

- 1 会社などの役員
 - 2 自営業主
 - 3 自家営業の手伝い
 - 4 自宅での賃仕事（内職）
 - 5 正規の職員・従業員
 - 6 アルバイト
 - 7 パート
 - 8 労働者派遣事業所の派遣社員
 - 9 契約社員
 - 10 嘱託
 - 11 その他
- 勤め先における呼称を基準にお答えください。
- 雇用保険（失業保険）に加入していますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。
- 1 している
 - 2 していない
 - 3 わからない
- 雇用契約は有期ですか、無期ですか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。
- 1 無期（契約期間の定めがない）
 - 2 有期（契約期間が1年超）
 - 3 有期（契約期間が1年以下）
 - 4 わからない

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

配一問4 あなたの夫の勤め先の従業者の数（勤め先・業主などの企業全体）はどのくらいですか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 1～4人	4 100～299人	7 1000～4999人
2 5～29人	5 300～499人	8 5000人以上
3 30～99人	6 500～999人	9 官公庁

配一問5 あなたの夫が現在ついているのはどのような職業ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 管理的な仕事	5 サービスの仕事	9 輸送・機械運転の仕事
2 専門的・技術的な仕事	6 保安の仕事	10 建設・採掘の仕事
3 事務の仕事	7 農林漁業の仕事	11 運搬・清掃・包装等の仕事
4 販売の仕事	8 生産工程の仕事	12 分類不能の職業

配一問6 あなたの夫の現在のお勤め先は、1年前（平成26年11月1日）と同じですか。

1 同じ -----▶ 配一問7へお進みください
2 違う（1年前に仕事についていなかった方も含みます）

配一補問6-1 あなたの夫が現在の勤め先に勤め始めた時期、または事業を開始した時期はいつですか。

1 平成26年			月
2 平成27年			月

配一問7 あなたの夫には、平成27年10月の1か月間に勤めて得た所得はありましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、所得がある場合は、その1か月間の所得額（税込み）を記入してください。複数の仕事による所得がある場合は、それらを合算のうえ記入してください。

平成27年10月の1か月間に勤めて得た所得	
所得	1 あり 金額 万 千円 2 なし

注：1）千円未満は四捨五入してください。
2）わからない場合は家族の方と相談してお答えください。

配一問8 あなたの夫の就業時間等についてお答えください。勤務日数と就業時間については、複数の仕事についている場合、それらを合計のうえ記入してください。

なお、平均的な平日の帰宅時間は、平日の日中に就業されている方のみ、出勤日の平均を24時間表示（10:00PMは22:00）でご記入ください。

1週間の勤務日数	通常		日	平均的な1週間の就業時間		時間
1日の片道の平均通勤時間		時間		分	平均的な平日の帰宅時間	:

(例：10:00PM→22:00)

注：1）就業時間は、ふだんの1週間の就業時間を記入してください。また、ふだん残業している場合は、残業時間も含めて記入してください。
(記入例：1日8時間、週5日働いた場合は、勤務日数5日、就業時間40時間となります。)
2）通勤時間は、日によって異なる場合は、それらを平均した1日当たりの片道通勤時間を記入してください。

配一問9 あなたの夫は現在、学業のために学校に通っていますか。通っている場合は学業と仕事のどちらが主ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

通っている

1 学業が主である

2 仕事为主である

3 通っていない

配一問10 あなたの夫が最後に卒業（または中退）された、あるいは在学中の学校はどれですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。また、卒業・中退・在学中のうちあてはまる番号1つに○をつけ、在学中でない方は、卒業（または中退）された年月を記入してください。

1 中学校

2 高校

3 専門学校

4 短大・高専

5 大学

6 大学院

7 その他

1 卒業

2 中退

3 在学中(休学等を含む)

卒業(または中退)された年月

1 昭和

平成

年

月

配一問11 あなたの夫は1日の中で、家事、育児・子どもの世話に何時間くらい費やしていますか。平日と休日に分けてお答えください。

平日

時間

分

休

時間

分

記入する方

配一問12 あなたの夫はこの1年間（平成26年11月～平成27年10月）に、次の制度を利用しましたか。それぞれの制度についてあてはまる番号1つに○をつけてください。また、育児休業制度の利用ありの場合は、取得期間（現在取得中の場合は予定期間）を記入してください。

制度の種類	利用の有無	育児休業取得期間（平成26年11月～平成27年10月の間）
(1) 育児休業制度	1 利用あり 2 利用なし	平成 年 月 ～ 平成 年 月
(2) 育児のための短時間勤務制度	1 利用あり 2 利用なし	※育児休業取得期間は、育児休業の開始から終了の期間が平成26年11月～平成27年10月にかかる場合に、実際の取得期間をすべて記入してください。 (記入例) 育児休業取得期間が平成26年7月から平成27年6月までの場合、平成26年7月～平成27年6月となります。
(3) (1)、(2)以外の育児のための勤務時間の短縮等	1 利用あり 2 利用なし	

注：1) 複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。
2) (3)の内容は、6頁の問13の(3)と同様です。

最後に、この調査に関して何でも結構ですので、感想など自由にご記入ください。

結果送付不要

※調査結果が不要な方は右に✓をつけてください。

☐

たいへんお忙しい中、長時間にわたりご協力いただきまして、
ありがとうございました。

この調査の結果は、まとめた後第皆さまのもとにお届けします。

少子化、就業、社会保障など、皆さまにとって身近な課題に取り
組んでいくための重要な基礎資料とさせていただきますので、今
後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

調査担当

厚生労働省大臣官房統計情報部
人口動態・保健社会統計課 世帯統計室
成年者縦断統計企画係

電話：(03)5253-1111(内線7547)

(03)3595-2315(ダイヤルイン)

(平日の月曜日～金曜日 9:30～18:15)

Eメール y-cohort@mhlw.go.jp

※平成27年4月1日より係名が変更になりました。

(新) 成年者縦断統計企画係

(旧) 成年者縦断統計第二係



政府統計

このマークは、統計法に基づく国の統計調査であることを示し、提出いただいた調査票情報の秘密の保護に万全を期すことをお約束するものです。

第4回21世紀成年者縦断調査【平成24年成年者】

国民の生活に関する継続調査
〔男性票〕

(平成27年11月4日調査)



厚生労働省

(お願い)

お答えは、数字は右詰めで記入し、あてはまる番号は○で囲んでください。

お答えになった内容については統計以外の目的には使用しませんのでご協力をお願いいたします。

整理番号									
地区番号			単位数番号		世帯番号				
出生年月									
1	昭和		年			月生			
2	平成		年			月生			

出生年月をご確認ください。----->
記載されていない場合はご記入願います。

問1 あなたは、現在、所得を伴う仕事（学生アルバイトも含む）についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。所得を伴う仕事は、家事（農業を含む）の手伝いや内職も含みます。

1	仕事についている	----->	問2へお進みください
2	仕事についているが、休業中(育児休業、介護休業など)である	----->	問2へお進みください
3	仕事についていない		
	1 家事についている		
	2 通学している	----->	4頁の問10へお進みください
	その他		

問2 現在、複数の仕事（休業中の仕事も含む）についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1	複数の仕事についている	----->	次頁の問3から問6までは、一番長い時間している仕事についてお答えください
2	ひとつの仕事にのみについている		

問3 現在についている仕事は、どのような形態ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。(問6まで同様です。)

1 会社などの役員	勤め先における呼称を基準にお答えください。 ➡	雇用保険（失業保険）に加入していますか。 あてはまる番号1つに○をつけてください。
2 自営業主		1 している 2 していない 3 わからない
3 自家営業の手伝い		雇用契約は有期ですか、無期ですか。 あてはまる番号1つに○をつけてください。
4 自宅での賃仕事（内職）		1 無期（契約期間が定めがない） 2 有期（契約期間が1年超） 3 有期（契約期間が1年以下） わからない
5 正規の職員・従業員		
6 アルバイト		
7 パート		
8 労働者派遣事業所の派遣社員		
9 契約社員		
10 嘱託		
11 その他		

問4 従業者の数（勤め先・業主などの企業全体）は、どのくらいですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 1～4人	4 100～299人	7 1000～4999人
2 5～29人	5 300～499人	8 5000人以上
3 30～99人	6 500～999人	9 官公庁

問5 どのような職業ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 管理的な仕事	5 サービスの仕事	9 輸送・機械運転の仕事
2 専門的・技術的な仕事	6 保安の仕事	10 建設・採掘の仕事
3 事務の仕事	7 農林漁業の仕事	11 運搬・清掃・包装等の仕事
4 販売の仕事	8 生産工程の仕事	12 分類不能の職業

問6 現在のお勤め先（会社等）は、1年前（平成26年11月1日）と同じですか。

1 同じ -----▶ 次頁の問7へお進みください
2 違う（1年前に仕事についていなかった方も含みます）

補問6-1 現在の勤め先（会社等）に勤め始めた時期、または事業を開始した時期はいつですか。

1 平成26年	月
2 平成27年	

問7 平成27年10月の1か月間に働いて得た所得はありましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、所得がある場合は、この1か月間の所得額（税込み）を記入してください。複数の仕事による所得がある場合は、それらを合算のうえ記入してください。

平成27年10月の1か月間に働いて得た所得	
所得	1 あり 金額 万 千円
	2 なし

注：千円未満は四捨五入してください。

問8 就業時間等についてお答えください。勤務日数と就業時間については、複数の仕事についている場合、それらを合計のうえ記入してください。

なお、平均的な平日の帰宅時間は、平日の日に就業されている方の、出勤日の平均を24時間表示（10:00PMは22:00）でご記入ください。

1週間の勤務日数	通常	日	平均的な1週間の就業時間	時間
1日の片道の平均通勤時間	時間	時間	平均的な平日の帰宅時間	: (例：10:00PM→22:00)

注：1）就業時間は、ふだんの1週間（就業時間）を記入してください。また、ふだん残業している場合は、残業時間も含めて記入してください。

（記入例：1日8時間、週5日働いている場合は、勤務日数5日、就業時間40時間となります。）

2）通勤時間は、日によって異なる場合は、それらを平均した1日当たりの片道通勤時間を記入してください。

問9 現在、学業のため、1校に通っていますか。通っている場合は学業と仕事のどちらが主ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

通っている	
1 学業が主である	-----▶ 次頁の問10へお進みください
2 仕事が主である	-----▶ 5頁の問11へお進みください
3 通っていない -----▶	

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

現在、仕事についていない方、仕事についているが学業が主である方

問10 あなたは、現在、所得を伴う仕事につきたいと思っていますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。(なお、在学中の方は学校卒業後に所得を伴う仕事につきたいと思っているかどうかお答えください。)

- | | | |
|---|--------|--|
| 1 | 思っている | -----▶ 補問10-1 へお進みください |
| 2 | 思っていない | -----▶ 仕事についた経験がない方は7頁の問14へお進みください
-----▶ 仕事についた経験がある方は次頁の問11へお進みください |

補問10-1 どのような形態の仕事につきたいと思いますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|---------------|-----------------|--------|
| 1 会社などの役員 | 5 正規の職員・従業員 | 9 契約社員 |
| 2 自営業主 | 6 アルバイト | 10 嘱託 |
| 3 自家営業の手伝い | 7 パート | 11 その他 |
| 4 自宅での賃仕事（内職） | 8 労働者派遣事業所の派遣社員 | |

補問10-2 仕事を探したり開業の準備をしたりしていますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|--------|---------|
| 1 している | 2 していない |
|--------|---------|

この1年間（平成26年11月1日以降）に仕事をやめたことがある方

問11 この1年間にやめた所得を伴う仕事（学生アルバイトも含む）についてお答えください。
 なお、同時期に複数の仕事についていた場合は、一番長い時間していた仕事をやめた場合について記入してください。

	仕事についた年月	仕事をやめた年月	就業形態（あてはまる番号1つに○をつけてください。）										
			会社などの役員	自営業主	自家営業の手伝い	正規の職員・従業員	正宅での賃仕事（内職）	アルバイト	パート	労働者派遣事業所の派遣社員	契約社員	嘱託	その他
1年前（平成26年11月1日）についていた仕事		平成 年 月											
平成26年11月1日以降に新たについた仕事	平成 年 月	平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	平成 年 月	平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	平成 年 月	平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

補問11-1 1年前（平成26年11月1日）についていた仕事をその後、やめたのはどのような理由からですか。あてはまる番号を○をつけてください。
 また、その中で主なものの番号を番号記入欄に記入してください。

1 自分の希望する仕事ではなかったから	14 健康がすぐれなかったから
2 能力・実績が正当に評価されなかったから	15 家族の介護のため
3 給与・報酬が低かったから	16 家族が転勤したから
4 労働時間が長かった・休暇が少なかったから	17 育児休業がとりにくかったから
5 独立・起業のため	18 会社から出向・転籍を命ぜられたから
6 通勤時間が長かったから	19 希望退職に応じたから
7 転勤が多かったから	20 倒産したから
8 一時的・不安定な仕事だったから	21 解雇されたから
9 人間関係がうまくいかなかったから	22 契約期間が満了したから
10 会社の経営方針に不満を感じたから	23 初めから短期のつもりだったから
11 事業又は会社の将来に不安を感じたから	24 新しい仕事が見つかったから
12 結婚のため	25 勉強のため
13 出産・育児のため	26 その他（ ）

主なものの番号記入欄

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

現在、会社等にお勤めの方（休業中、アルバイト・パート等も含む）

問12 あなたのお勤めの会社等には、以下のような、仕事と子育ての両立のため及び仕事と介護の両立のための制度で、あなたの就業形態で利用可能な制度はありますか。それぞれの制度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

制度の種類	① あなたの就業形態で 利用可能な次の制度は ありますか。	①で「ある」とお答えになった制度 についてお答えください。		④ 現在または今後、 育児のために 制度を利用したいと 思いますか。	
		② その制度を 利用した場合の給与	③ あなたが利用するにあたっての 雰囲気はどうか。		
仕事と子育ての両立のため	(1) 育児休業制度	1 ある 2 ない 3 わからない	1 有給 2 無給 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 現在利用している 4 わからない
	(2) 短時間勤務制度	1 ある 2 ない 3 わからない		1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 現在利用している 4 わからない
	(3) (1)、(2)以外の育児のための勤務時間の短縮等 〔フレックスタイム制 始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ 所定外労働(残業)の免除〕	1 ある 2 ない 3 わからない		1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 現在利用している 4 わからない

制度の種類	① あなたの就業形態で 利用可能な次の制度は ありますか。	①で「ある」とお答えになった制度 についてお答えください。		④ 現在または今後、 介護のために 制度を利用したいと 思いますか。	
		② その制度を 利用した場合の給与	③ あなたが利用するにあたっての 雰囲気はどうか。		
仕事と介護の両立のため	(1) 介護休業制度	1 ある 2 ない 3 わからない	1 有給 2 無給 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 利用経験がある 4 わからない
	(2) 介護のための所定労働時間の短縮等の措置※	1 ある 2 ない 3 わからない		1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 利用経験がある 4 わからない

注：複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

※ 介護のための所定労働時間の短縮等の措置とは、介護のために利用可能な以下のいずれかの制度を指します。
所定労働時間を短縮する制度、フレックスタイム制、始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ、労働者が利用する介護サービスの費用の助成その他これに準ずる制度。

お子さんのいる方

問13 あなたはこの1年間（平成26年11月～平成27年10月）に、次の制度を利用しましたか。それぞれの制度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、育児休業制度の利用ありの場合は、取得した期間（現在取得中の場合は予定期間）を記入してください。

制度の種類	利用の有無	育児休業取得期間（平成26年11月～平成27年10月の間）
(1) 育児休業制度	1 利用あり 2 利用なし	平成 年 月 ～ 平成 年 月
(2) 育児のための短時間勤務制度	1 利用あり 2 利用なし	※育児休業取得期間は、育児休業の開始から終了の期間が平成26年11月～平成27年10月にかかる場合に、実際の取得期間をすべて記入してください。 (記入例) 育児休業取得期間が平成26年7月から平成27年6月までの場合、平成26年7月～平成27年6月となります。
(3) (1)、(2)以外の育児のための勤務時間の短縮等	1 利用あり 2 利用なし	

注：1) 複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

2) (3)の内容は、この頁の問12の(3)と同様です。

すべての方

- 問14 あなたはこの1年間（平成26年11月～平成27年10月）に、次の出来事がありましたか。
 あてはまる番号すべてに○をつけて、その年月を記入してください。
 また、それぞれの学校の種類についても、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 卒業した	→平成		年		月	→	1 高校	3 短大・高専	5 大学院
							2 専門学校	4 大学	6 その他
2 中退した	→平成		年		月	→	1 高校	3 短大・高専	5 大学院
							2 専門学校	4 大学	6 その他
3 入学した	→平成		年		月	→	1 高校	3 短大・高専	5 大学院
							2 専門学校	4 大学	6 その他
4 上記1～3のようなことはなかった									

- 問15 あなたには、現在、配偶者はいますか。
 なお、「配偶者」には、事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない場合も含みます。（以下の質問についても同様です。）

1 いる	→現在、配偶者と同居しています	1 同居している	→	問17へお進みください
		2 同居していない		
2 いない	→現在、「交際している異性」がいますか	1 いる	2 いない	→
				問16へお進みください

- 補問15-1 今後の1年間（平成27年11月～平成28年10月）に、結婚の予定はありますか。

1 ある	2 ない
------	------

- 問16 今後、結婚したいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 絶対したい	→次頁の問18へお進みください
2 なるべくしたい	
3 どちらとも言えない	
4 あまりしたくない	
5 絶対したくない	

- 問17 下記(1)～(3)の事項について、夫妻のいずれが責任をもつ家庭を築きたいと思いますか。それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

	夫が主として責任をもつ家庭	妻が主として責任をもつ家庭	夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭	わからない
(1) 世帯の収入	1	2	3	4
(2) 家事	1	2	3	4
(3) 育児	1	2	3	4

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

すべての方

問18 この1年間（平成26年11月～平成27年10月）に、次のような出来事がありましたか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

なお、結婚には、事実上夫婦として生活するようになった場合、離婚・死別には事実上夫婦として生活していた場合も含みます。

1 結婚した	配偶者の生年月 1 昭和 年 月生 2 平成 年 月生 同居を開始した年月 平成 年 月
2 離婚した	
3 配偶者と死別した	
4 上記1～3のようなことはなかった	

問19 今後、（すでにいらっしゃる場合は、さらに）何人の子どもをもちたいと考えていますか。

すでにいらっしゃるお子さんは含めずに記入してください。

（お子さんが欲しくない場合は、0人と記入してください。）

（さらに） 人

問20 あなたは1日の中で、家事、育児・子どもの世帯に何時間くらい費やしていますか。平日と休日に分けてお答えください。

平日		時間		分	休日		時間		分
----	----------------------	----	----------------------	---	----	----------------------	----	----------------------	---

配偶者がいる方で、現在、配偶者が仕事についている方
（休業中、アルバイト・パート等も含む）

問21 あなたの配偶者が、今後出産する場合に、出産した後も配偶者が現在の仕事を続けることを希望しますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。（今後の出産を考えていない方は、「5 今後の配偶者の出産は考えていない」に○をつけてください。）

1 出産した後も 続けてほしい	2 出産を機に やめてほしい	3 配偶者の意向を 尊重したい	4 わからない	5 今後の配偶者の出産は 考えていない
--------------------	-------------------	--------------------	---------	------------------------

すべての方

問22 次の(ア)から(カ)の質問について、過去1か月の間はどのようでありましたか。6つの項目それぞれについてあてはまる番号1つに○をつけてください。

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったく ない
(ア) 神経過敏に感じましたか	1	2	3	4	5
(イ) 絶望的だと感じましたか	1	2	3	4	5
(ウ) そわそわ、落ち着かなく感じましたか	1	2	3	4	5
(エ) 気分が沈み込んで、何が起ころうとも 気が晴れないように感じましたか	1	2	3	4	5
(オ) 何をするのも骨折りだと感じましたか	1	2	3	4	5
(カ) 自分は価値のない人間だと感じましたか	1	2	3	4	5

問23 現在のあなたの暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|---------|------------|------------|
| 1 大変苦しい | 3 普通 | 5 大層ゆとりがある |
| 2 やや苦しい | 4 ややゆとりがある | |

問24 あなたの世帯で主に家計を支えているのはどなたですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------------|-------------|----------|----------|
| 1 あなた | 4 配偶者のきょうだい | 7 配偶者の父親 | 10 わからない |
| 2 配偶者 | 5 あなたの父親 | 8 配偶者の母親 | |
| 3 あなたのきょうだい | 6 あなたの祖父 | 9 その他 | |

配偶者がこの調査に回答していない方

⇒ 今回の調査はすべて終了です。

上記以外の方、配偶者がいない方

⇒ 引き続き問25より該当する項目に記入をお願いいたします。

問25 現在、同居している方は何人ですか。ご家族については、建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。

		人（ご本人は含みません）
--	--	--------------

問26 あなた及びあなたの配偶者のご両親と同居していますか。建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。（配偶者がいない方は、(1)、(2)のみお答えください。）

(1) あなたの父親	1 同居	2 別居（自宅からの距離____分）	3 死別
(2) あなたの母親	1 同居	2 別居（自宅からの距離____分）	3 死別
(3) 配偶者の父親	1 同居	2 別居（自宅からの距離____分）	3 死別
(4) 配偶者の母親	1 同居	2 別居（自宅からの距離____分）	3 死別

注：自宅からの距離は、よく利用する交通手段での移動時間を分単位に換算してご記入ください。

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

問27 この1年間（平成26年11月～平成27年10月）に転居、又は住居の増改築をしましたか。
 なお、転居には、住所変更を伴わない一時的な滞在（出産のために実家に帰るなど）は含みません。

1 した

2 していない

補問27-1 現在のお住まいの状況について、あてはまる番号1つに○をつけて、居住室数をお答えください。

住居の種類	住居の床面積 〔※玄関・台所・便所・浴室などを 含んだ住居全ての床面積の合計 ※畳2畳分＝約3.3㎡〕	居住室数 〔※玄関・台所・便所・浴室・ 廊下などは除きます。 ※ダイニングキッチンは 含めます。〕
1 持ち家	1 25㎡未満	室
2 民間賃貸住宅	2 25～50㎡未満	
3 社宅・公務員住宅等の給与住宅	3 50～75㎡未満	
4 都市再生機構・公社等の公営賃貸住宅	4 75～100㎡未満	
5 借間・その他	5 100～150㎡未満	
	6 150～200㎡未満	
	7 200㎡以上	

配偶者がいない方で、親御さんとお住んでいる方のみお答えください

問28 あなたは生活費を家計に繰り入れておられますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。入れている場合は、毎月の平均額を記入してください。

1 入っていない

2 入れている

万円(99万円以上の場合は「99」と記入してください)

すべての方

問29 あなた（現在、配偶者がいる場合にはあなた及び配偶者）の、平成26年1年間に得た所得（働いて得た所得（税込み）とその他の所得の合計金額）について、それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。配偶者がいない場合には、「(1) あなたの所得」のみお答えください。

	平成26年1年間の所得					
(1) あなたの 所得	1 所得なし	7 250～299万円	13 600～ 699万円			
	2 50万円未満	8 300～349万円	14 700～ 799万円			
	3 50～ 99万円	9 350～399万円	15 800～ 899万円			
	4 100～149万円	10 400～449万円	16 900～ 999万円			
	5 150～199万円	11 450～499万円	17 1000～1499万円			
	6 200～249万円	12 500～599万円	18 1500万円以上			
(2) 配偶者の 所得	1 所得なし	7 250～299万円	13 600～ 699万円			
	2 50万円未満	8 300～349万円	14 700～ 799万円			
	3 50～ 99万円	9 350～399万円	15 800～ 899万円			
	4 100～149万円	10 400～449万円	16 900～ 999万円			
	5 150～199万円	11 450～499万円	17 1000～1499万円			
	6 200～249万円	12 500～599万円	18 1500万円以上			

注：1) 1万円未満は四捨五入してください。

2) わからない場合は家族の方と相談してお答えください。

3) その他の所得には、親からの仕送り、家賃・光熱費等、財産収入、利息・配当金、児童手当、雇用保険からの育児休業給付等の社会保障給付なども含まれます。

問30 あなた（現在、同居している配偶者がいる場合にはあなた及び配偶者）が、平成27年10月の1か月間に支出した額を記入してください。配偶者がいない場合や配偶者が別居している場合には、あなたご自身の支出について記入してください。

なお、親や兄弟など他の家族と生計を共にしているため、他のご家族の支出と区別することが困難な場合には、世帯全体（あなたの親や兄弟などの支出を含む）の支出を記入してください。

わからない場合には家族の方と相談してお答えください。

平成27年10月の1か月間の支出	
(1) 支出額 ((2)～(4)を含む)	 万 千円
(2) うち、お子さんの保育料 〔小学校入学前のお子さんについて、保育所、認定こども園、ベビーシッター等の保育サービスを利用した場合に支払った費用〕	1 あり ↓ 金額 万 千円 2 なし
(3) うち、お子さんの教育費 〔幼稚園、放課後児童(学童)クラブ、学校教育費、参考書等の購入費、家庭教師、通信教育、学習塾、水泳教室、音楽教室等に支払った費用〕	1 あり ↓ 金額 万 千円 2 なし
(4) 親や兄弟など他の家族の支出との区別	1 できる 2 できない

注：1) 支出には、税金、社会保険料、事業上の支払い、貯蓄、借金、住宅ローンの返済、掛け捨て型以外の生命保険料・損害保険料は含めませんが、耐久消費財の購入、冠婚葬祭の費用は含めます。

2) 千円未満は四捨五入してください。

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

問31 お子さんはいますか。

----- 1 いる 2 いない -----▶ 次頁へお進みください

補問31-1 お子さんについて、年齢の高い順に記入してください。（7人以上お子さんがいらっしゃる場合は、余白にご記入ください。）

	性別	出生年月	同別居 の別	(同居している小学生の お子さんについて) 現在の放課後児童(学童) クラブの利用の有無
1	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
2	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
3	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
4	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
5	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
6	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし

小学校入学前の同居しているお子さん いらっしゃる方のみお答えください

補問31-2 現在、利用している保育サービス等について あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1 認可保育所（園） | 6 幼稚園が行っている預かり保育 |
| 2 事業所内託児施設 ^(注) | 7 幼稚園（預かり保育を除く） |
| 3 認可外保育施設（事業所内託児施設を除く） | 8 認定こども園 |
| 4 ベビーシッター、家庭的保育事業（保育ママ） | 9 利用していない |
| 5 ファミリー・サポート・センター | |

注：あなた（現在、配偶者がいる場合には、あなたや配偶者）が会社等にお勤めの場合、その会社等に設置されている託児施設です。

補問31-3 小学校入学前のお子さんを、平日の日中に世話をしているご家族等はどなたですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------|---------------------------------|
| 1 あなた | 6 配偶者の母 |
| 2 配偶者 | 7 その他の家族・親族 |
| 3 あなたの父 | 8 その他（友人・知人等） |
| 4 あなたの母 | 9 なし（保育サービス等の利用のみの場合はこちらに含まれます） |
| 5 配偶者の父 | |

補問31-4 現在、利用を希望しているが利用できない保育サービスはありますか。ある場合は、利用を希望するものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1 認可保育所（園） | 6 幼稚園が行っている預かり保育 |
| 2 事業所内託児施設 ^(注) | 7 幼稚園（預かり保育を除く） |
| 3 認可外保育施設（事業所内託児施設を除く） | 8 認定こども園 |
| 4 ベビーシッター、家庭的保育事業（保育ママ） | 9 特になし |
| 5 ファミリー・サポート・センター | |

注：あなた（現在、配偶者がいる場合には、あなたや配偶者）が会社等にお勤めの場合、その会社等に設置されている託児施設です。

配偶者がいない方は回答終了です。

配偶者（妻）の状況

配偶者(妻)がこの調査に回答されていない方のみお答えください。

配一問1 あなたの妻は、現在、所得を伴う仕事（学生アルバイトも含む）についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。所得を伴う仕事には、家業（農業を含む）の手伝いや内職も含まれます。

- | | |
|---------------------------------|---------------------|
| 1 仕事についている | → 配一問2へお進みください |
| 2 仕事についているが、休業中(育児休業、介護休業など)である | |
| 3 仕事についていない | → 15頁の配一問10へお進みください |
| 1 家事に従事している | |
| 2 通学している | |
| 3 その他 | |

配一問2 あなたの妻は、現在、複数の仕事（休業中の仕事も含む）についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|---|
| 1 複数の仕事についている | → 配一問3から配一問6までは、一番長い時間している仕事についてお答えください |
| 2 ひとつの仕事にのみについている | |

配一問3 あなたの妻が、現在についている仕事はどのような形態ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。休業中の場合は、休業中の状況のもとにお答えください。(配一問6まで同様です。)

- | | | |
|-----------------|--|--|
| 1 会社などの役員 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">勤め先における呼称を基準にお答えください。</div> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="font-size: 40px; margin-right: 10px;">}</div> <div style="font-size: 40px;">}</div> </div> | 雇用保険（失業保険）に加入していますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。 |
| 2 自営業主 | | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 1 している
2 していない
3 わからない </div> |
| 3 自家営業の手伝い | | |
| 4 自宅での賃仕事（内職） | | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">雇用契約は有期ですか、無期ですか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 1 無期（契約期間の定めがない）
2 有期（契約期間が1年超）
3 有期（契約期間が1年以下）
4 わからない </div> |
| 5 正規の職員・従業員 | | |
| 6 アルバイト | | |
| 7 パート | | |
| 8 労働者派遣事業所の派遣社員 | | |
| 9 契約社員 | | |
| 10 嘱託 | | |
| 11 その他 | | |

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

配一問4 あなたの妻の勤め先の従業者の数（勤め先・業主などの企業全体）はどのくらいですか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 1～4人	4 100～299人	7 1000～4999人
2 5～29人	5 300～499人	8 5000人以上
3 30～99人	6 500～999人	9 官公庁

配一問5 あなたの妻が現在についているのはどのような職業ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 管理的な仕事	5 サービスの仕事	9 輸送・機械運転の仕事
2 専門的・技術的な仕事	6 保安の仕事	10 建設・採掘の仕事
3 事務の仕事	7 農林漁業の仕事	11 運搬・清掃・包装等の仕事
4 販売の仕事	8 生産工程の仕事	12 分類不能の職業

配一問6 あなたの妻の現在のお勤め先は、1年前（平成26年11月1日）と同じですか。

1 同じ	-----▶ 配一問7へお進みください
2 違う（1年前に仕事についていなかった方も含みます）	

配一補問6-1 あなたの妻が現在の勤め先に勤め始めた時期、または事業を開始した時期はいつですか。

1 平成26年			月
2 平成27年			月

配一問7 あなたの妻には、平成27年10月の1か月間に勤めて得た所得はありましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、所得がある場合は、その1か月間の所得額（税込み）を記入してください。複数の仕事による所得がある場合は、それらを合算のうえ記入してください。

平成27年10月の1か月間に勤めて得た所得	
所得	1 あり 金額 万 千円 2 なし

注：1）千円未満は四捨五入してください。
2）わからない場合は家族の方と相談してお答えください。

配一問8 あなたの妻の就業時間等についてお答えください。勤務日数と就業時間については、複数の仕事についている場合、それらを合計のうえ記入してください。

なお、平均的な平日の帰宅時間は、平日の日中に就業されている方のみ、出勤日の平均を24時間表示（10:00PMは22:00）でご記入ください。

1 週間の勤務日数	通常		日	平均的な1週間の就業時間		時間
1日の片道の平均通勤時間		時間		分	平均的な平日の帰宅時間	:

(例：10:00PM→22:00)

注：1）就業時間は、ふだんの1週間の就業時間を記入してください。また、ふだん残業している場合は、残業時間も含めて記入してください。
(記入例：1日8時間、週5日働いた場合は、勤務日数5日、就業時間40時間となります。)
2）通勤時間は、日によって異なる場合は、それらを平均した1日当たりの片道通勤時間を記入してください。

配一問9 あなたの妻は現在、学業のために学校に通っていますか。通っている場合は学業と仕事のどちらが主ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

通っている

1 学業が主である

2 仕事の主である

3 通っていない

配一問10 あなたの妻が最後に卒業（または中退）された、あるいは在学中の学校はどれですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。また、卒業・中退・在学中のうちあてはまる番号1つに○をつけ、在学中でない方は、卒業（または中退）された年月を記入してください。

1 中学校	5 大学	1 卒業 ----- 2 中退 ----- 3 在学中(休学等を含む)	卒業(または中退)された年月 1 昭和 [] 年 [] 月 平成 [] 年 [] 月
2 高校	6 大学院		
3 専門学校	7 その他		
4 短大・高専			

配一問11 あなたの妻は、現在、妊娠していますか。

1 している

2 していない・わからない

配一問12 あなたの妻は1日の中で、家事・育児・子どもの世話に何時間くらい費やしていますか。平日と休日に分けてお答えください。

平日	[] 時間 [] 分	休日	[] 時間 [] 分
----	--------------	----	--------------

お子さんのいる方

配一問13 あなたの妻は、平成26年11月～平成27年10月（平成26年11月～平成27年10月）に、次の制度を利用しましたか。それぞれの制度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、育児休業制度の利用ありの場合、取得した期間（現在取得中の場合は予定期間）を記入してください。

制度の種類	利用の有無	育児休業取得期間（平成26年11月～平成27年10月の間）
(1) 育児休業制度	1 利用あり 2 利用なし	平成 [] 年 [] 月 ～ 平成 [] 年 [] 月
(2) 育児のための短時間勤務制度	1 利用あり 2 利用なし	※育児休業取得期間は、育児休業の開始から終了の期間が平成26年11月～平成27年10月にかかる場合に、実際の取得期間をすべて記入してください。 （記入例） 育児休業取得期間が平成26年7月から平成27年6月までの場合、平成26年7月～平成27年6月となります。
(3) (1)、(2)以外の育児のための勤務時間の短縮等	1 利用あり 2 利用なし	

注：1）複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。
 2）(3)の内容は、6頁の問12の(3)と同様です。

最後に、この調査に関して何でも結構ですので、感想など自由にご記入ください。

結果送付不要

※調査結果が不要な方は右に✓をつけてください。

☐

たいへんお忙しい中、長時間にわたりご協力いただきまして、
ありがとうございました。

この調査の結果は、まとめた後第皆さまのもとにお届けします。

少子化、就業、社会保障など、皆さまにとって身近な課題に取り
組んでいくための重要な基礎資料とさせていただきますので、今
後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

調査担当

厚生労働省大臣官房統計情報部
人口動態・保健社会統計課 世帯統計室
成年者縦断統計企画係

電話：(03)5253-1111(内線7547)

(03)3595-2315(ダイヤルイン)

(平日の月曜日～金曜日 9:30～18:15)

Eメール y-cohort@mhlw.go.jp

※平成27年4月1日より係名が変更になりました。

(新) 成年者縦断統計企画係

(旧) 成年者縦断統計第二係



政府統計

このマークは、統計法に基づく国の統計調査であることを示し、提出いただいた調査票情報の秘密の保護に万全を期すことをお約束するものです。